

第5編 医 療

第1章 医療対策

ポイント

- ・ 福井県医療計画の進捗管理と、若狭地域における在宅医療の充実・強化を図るために、地域医療連携体制協議会を開催し、関係機関や多職種の連携体制について検討している。
- ・ 病院および一般・歯科診療所に対して立入検査を実施している。

1 医務関係業務

(1) 地域医療の推進

① 医療施設

管内の医療施設は表1のとおりである。

医療施設に対しては、医療法の規定に基づき立入検査を実施しており、法で定められた人員や構造設備を有しているか、適正な管理を行っているかを確認している。

表1 医療施設数および立入検査件数

(H27.3.31現在)

区 分 市町名	病 院											一般診療所				歯科診療所
	施 設 数					病 床 数						施 設 数			病床数	
	総 数	精神	結核	一般	療養	総 数	精神	感染	結核	一般	療養	総 数	有床	無床		
小 浜 市	2	(1)	(1)	1	1	576	100	2	8	246	220	19	1	18	18	9
高 浜 町	1	-	-	1	(1)	115	-	-	-	40	75	7	-	7	-	4
おおい町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1	6	19	3
若 狭 町	2	1	-	1	(1)	241	170	-	-	39	32	3	-	3		1
管 内	5	1	-	3	1	932	270	2	8	325	327	36	2	34	37	17
立入検査件数	25															

人口10万対医療施設数および病床数をみると、一般病床数や診療所数は全国・福井県に比べて少ないが、療養・精神病床数は全国・福井県に比べて多い。(表2)

表2 人口10万対医療施設数および病床数

(H24.10.1現在)

区 分	病 院					一般診療所		歯 科 診療所
	病院数	病 床 数				診 療 所 数	病床数	
		総 数	一 般	療 養	精 神			
管 内	8.7	1619.9	649.0	486.3	467.3	62.3	65.8	29.4
県 内	9.0	1413.3	818.9	289.9	295.0	73.7	201.5	35.8
全 国	6.7	1237.7	704.4	257.9	268.4	78.5	98.5	53.7

② 医療従事者

医師等医療従事者については2年ごとに関係法令に基づき調査を実施しており、詳細は表3～6のとおりである。人口10万対医療従事者数をみると、医師・歯科医師・薬剤師が全国・福井県に比べて少ない。(表3)

表 3 人口 10 万対医療従事者数

(H24. 12. 31 現在)

区 分	医 師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師
管 内*	161.2	38.0	127.8	80.6	33.5	862.4	357.4
県 内	247.1	53.3	171.3	62.7	25.7	943.5	410.3
全 国	237.8	80.4	219.6	37.1	25.0	796.6	280.6

*旧三方町を含む。

表 4 医師数（就業地）

(H24. 12. 31 現在)

区 分 市町名	総 数	病院 の開 設者	病院 の勤 務者	診療 所の 開 設者	診療 所の 勤 務者	介護 保険 施設 の勤 務者	衛生 行政 また は保 健 衛生 業務 の従 事者	無 職
小 浜 市	69	1	52	13	1	1	1	-
高 浜 町	8	1	2	1	3	1	-	-
おおい町	9	-	-	2	5	-	-	2
若狭町*	20	2	11	5	1	1	-	-
合 計	106	4	65	21	10	3	1	2

表 5 歯科医師数（就業地）

(H24. 12. 31 現在)

区 分 市町名	総 数	病院 の開 設者	病院 の勤 務者	診療 所の 開 設者	診療 所の 勤 務者	無 職
小 浜 市	15	-	3	9	3	-
高 浜 町	4	-	-	4	-	-
おおい町	3	-	-	2	1	-
若狭町*	5	-	1	2	2	-
合 計	27	-	4	17	6	-

*表 3～6 について、若狭町は旧三方町を含む。

表 6 薬剤師数（就業地）

(H24. 12. 31 現在)

区 分 市町名	総 数	薬局 の開 設者	薬局 の勤 務者	病院 また は診 療所 の勤 務者	医薬 品関 係企 業の 従事 者	衛生 行政 また は保 健 衛生 業務 の従 事者	そ の 他	無 職
小 浜 市	48	6	20	14	-	7	-	1
高 浜 町	14	1	8	4	-	-	-	1
おおい町	5	1	3	1	-	-	-	-
若狭町*	17	-	6	7	4	-	-	-
合 計	84	8	37	26	4	7	-	2

表 7 保健師・助産師・看護師・准看護師

歯科衛生士・歯科技工士数（就業地）(H24. 12. 31 現在)

区 分 市町名	保 健 師	助 産 師	看 護 師	准 看 護 師	歯 科衛 生士	歯 科技 工士
小 浜 市	24	21	341	118	20	2
高 浜 町	10	1	71	26	2	2
おおい町	10	0	41	17	7	3
若狭町*	9	-	114	74	2	3
合 計	53	22	567	235	31	10

(2) 原子爆弾被爆者援護事業

管内の被爆者数は、平成 27 年 3 月 31 日現在で 5 人である。

健康診断は、被爆者の健康管理の一環として、健康手帳の交付を受けた方に対して毎年定期的に 2 回実施しており、一般検査と精密検査に区分されている。また、希望者には、杉田玄白記念公立小浜病院と独立行政法人地域医療機能推進機構若狭高浜病院において、がん検診を委託実施している。

なお、管内の被爆者全員が健康管理手当を受給している。

表 8 被爆者健康診断実施状況・手当受給者

(単位:人)

区 分 年 度		一般検診	精密検診	がん検診	健康管理手当
H23	上期	3	－	－	7
	下期	3	－	－	
	合計	6	－	－	
H24	上期	5	－	－	6
	下期	4	－	－	
	合計	9	－	－	
H25	上期	5	－	－	6
	下期	4	－	－	
	合計	9	－	－	
H26	上期	5	－	－	6
	下期	4	－	－	
	合計	9	－	－	

(3) 骨髄移植(骨髄バンク)・臓器移植推進事業

白血病や重症再生不良性貧血等の血液難病に対して有効な根治療法である骨髄移植を推進するため、骨髄バンクへのドナー登録に関する普及啓発に努めている。

また、臓器移植についても、パンフレットや臓器提供意思表示カードを配布する等普及啓発に努めている。

表 9 骨髄バンク受付・登録者等件数

(単位:人)

年 度	管内登録者	県内登録者	登録抹消者	県内有効登録者
H20	11	176	58	2,285
H21	3	107	74	2,318
H22	12	78	101	2,295
H23	15	96	86	2,305
H24	2	112	108	2,309
H25	0	54	102	2,261
H26	8	102	93	2,270

(4) 医療連携・在宅医療連携推進事業

若狭地域における5疾病5事業と在宅医療を中心に、役割分担と連携を進め、適切で切れ目のない医療を提供する体制を検討するために表10の会議を開催した。

表 10 平成26年度若狭地域医療連携体制協議会

日時・場所	内 容	参加数
H26年9月10日(水) 18:30～20:00 若狭健康福祉センター	「若狭地域の在宅ケア体制整備に向けての取り組みについて」 ・平成25年度の実施状況報告 ・平成26年度の取り組み	29人
H27年3月13日(金) 18:30～20:00 若狭健康福祉センター	「若狭地域在宅ケア支援体制整備について」 ・平成26年度の実施状況報告 ・平成27年度に向けての課題と方向性	31人

第2章 薬 事

ポイント

- ・ 小学校高学年以上の児童・生徒を対象に薬物乱用防止普及啓発活動を実施した。

1 薬事関係業務

(1) 医薬品および毒物劇物対策

管内の薬局、医薬品販売業および毒物劇物販売業等の状況は表1のとおりである。

これらの施設に対し「医薬品一斉監視指導」、「農薬危害防止運動」の期間を中心に監視指導を行っている。

表1 薬事関係業務

(H27.3.31現在)

区 分 市町名	薬 局	医 薬 品							医療機器			毒 物 劇 物					
		医薬品販売業					薬局 医薬品製造業	薬局 医薬品製造販売業	医薬品製造業	医療機器製造業	販売業		毒物劇物製造業	販 売 業			業務上取扱者
		一 般	店 舗	薬種 商	配 置	卸 売					高度管理医療機器	管理医療機器		一 般	農業用品目	特定品目	
小 浜 市	10	-	10	1	1	1	3	3	1	-	11	82	1	11	5	1	-
高 浜 町	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	14	-	3	3	-	-
おおい町	2	-	1	1	-	-	1	1	-	-	1	12	-	2	3	-	-
若 狭 町*	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2	12	3	2	3	-	-
管 内	16	-	12	2	1	1	4	4	2	-	17	120	4	18	14	1	-
監視件数	26	-	9	-	-	-	6	6	7	-	19	36	0	8	12	-	-

*旧三方町除く

(2) 献血状況

表2に示すとおり、管内全体での献血者数は受入予定数を上回ったが、県全体では、目標23,930人に対し22,872人と目標数を下回る結果となった。今後、少子高齢化が進むことから、より血液製剤需要の増大、献血者数の減少が予測されるため、若年層の献血率向上が重要な課題である。その対策として、赤十字血液センターと合同で学生等を対象にした「血液・献血出前講座」を実施している。

表2 献血受入状況（移動献血車による献血受入人員数）

年度 区分 市町名	H25					H26				
	予定数	実 績				予定数	実 績			
		成分	400ml	200ml	計		成分	400ml	200ml	計
小浜市	671	-	683	101	784	754	0	639	66	705
高浜町	549	-	369	26	395	348	0	372	21	393
おおい町	610	-	650	35	685	580	0	611	21	632
若狭町*	305	-	345	13	358	290	0	255	7	262
合 計	2,135	-	2,047	175	2,222	1,972	0	1,877	115	1,992
県 計	23,450	-	21,894	2,046	23,940	23,930	0	21,196	2,046	22,872

*旧三方町を含む。

(3) 薬物乱用防止対策

危険ドラッグが全国的にまん延するなど、一般住民、特に若者の薬物乱用が大きな社会問題となっており、住民に対し薬物乱用防止知識の普及徹底を図るため、薬物乱用防止指導員の協力も得て、啓発活動に取り組んだ。

また、減少傾向にあるものの、いまだ若年層による薬物事犯は毎年多数発生おり、児童、生徒に薬物乱用の危険性を認識してもらうために、依頼のあった各学校において講習会を実施した。

表 3 平成 26 年度 薬物乱用防止指導教室・講習会

月 日	場 所	対 象 者	参加者数	備 考
平成 26 年 5 月 13 日	小浜市立小浜小学校	児 童	46 人	講師 若狭健康福祉センター 主事 前野晃利
6 月 11 日	県立若狭東高等学校	生 徒	197 人	講師 若狭健康福祉センター 主事 前野晃利
6 月 27 日	小浜市立小浜第二中学校	生 徒	506 人	講師 若狭健康福祉センター 主事 前野晃利
7 月 15 日	おおい町立本郷小学校	児 童	44 人	講師 若狭健康福祉センター 主事 前野晃利
10 月 28 日	高浜町立高浜中学校	生 徒	124 人	講師 若狭健康福祉センター 主事 前野晃利
11 月 26 日	小浜市立宮川小学校	児 童	16 人	講師 若狭健康福祉センター 主事 前野晃利
11 月 28 日	小浜市立中名田小学校	児 童	24 人	講師 若狭健康福祉センター 主事 前野晃利
12 月 11 日	小浜市立国富小学校	児 童	18 人	講師 若狭健康福祉センター 主事 前野晃利
平成 27 年 1 月 27 日	小浜市立口名田小学校	児 童	37 人	講師 若狭健康福祉センター 主事 前野晃利
2 月 12 日	小浜市立内外海小学校	児 童	17 人	講師 若狭健康福祉センター 主事 前野晃利
2 月 20 日	小浜市立雲浜小学校	児 童	34 人	講師 若狭健康福祉センター 主事 前野晃利
2 月 25 日	小浜市立松永小学校	児 童	13 人	講師 若狭健康福祉センター 主事 前野晃利
2 月 26 日	若狭町立野木小学校	児 童	17 人	講師 若狭健康福祉センター 主事 前野晃利